



教育



編集機能



地域連携

目標実現の2030年に向け、学生の力で地域を活性化

次代を担う若い世代のSDGsを応援！！

『若者たちのSDGs』

世界規模で、2030年までによりよい未来を築くために設定された目標、優先課題であるSDGs。日本が2015年の国連サミットでSDGsに積極的に取り組むことを表明してから約5年、このワードの認知度は急速に高まってきました。目標の実現まであと10年、首都圏の地元紙東京新聞として出来ることはと考え、地域振興や活性化のために、目標実現の2030年には社会の第一線で活躍している若者たちの地域活動を取り上げようとスタートしたのが「若者たちのSDGs」企画です。

第一回は相模原市と町田市の大学を中心として、魅力ある地域社会を創ることを目的とした「さがまちコンソーシアム」、その中で活動する「さがまち学生Club」の学生たちのSDGsの取り組みを紹介しました。第二回はさいたま市の農場を舞台に青空実験教室を通して、大学生たちが子どもたちに自然の現象や恵みを伝えるために定期的に実施している活動「農かがく」を取り上げました。これからも東京新聞では若者たちのSDGsに関連する活動を定期的に情報発信していきます。(東京本社広告二部)

相模原市×町田市×大学 「さがまちコンソーシアム」

大学生が教える 青空実験教室「農かがく」

▲2020年12月5日東京新聞朝刊

▲2021年1月1日東京新聞朝刊

〈読者の声〉

- ・タイムリーなテーマだと思った。(男性29歳以下)
- ・若者たちとSDGを結び付けた本広告をととても新鮮に思えた。本紙には今後もこの企画を継続的に掲載することを期待したい。(男性60代)
- ・若者の記事は元気を与えてくれます。その見返りにもっと応援をしていかなくてはと思います。(女性60代)

本件のお問い合わせは、東京新聞広告局 電話03-6910-2483 (2021/2/9)

新聞広告共通調査プラットフォーム J-MONITOR